

**ダイアボンド No.3800G-1**

(二酸化マンガン架橋タイプ)

ダイアボンドNo.3800G-1は、ポリサルファイドゴム(多硫化ゴム)を主成分とするシーリング材で、他の合成ゴムや合成樹脂を主成分とするシーリング材に比較して、耐油性，耐溶剤，耐水性，耐薬品性に優れています。

§ 一般性状

	主 剤	硬化剤
主 成 分	ポリサルファイド	金属酸化物(二酸化マンガン)
外 観	灰色	茶褐色
比 重 at20℃	1.60 ± 0.1	1.56 ± 0.2
不 揮 発 分 (%)	100	100
粘 度 (mPa·s) at20℃	80 万 ~ 180 万	50 万 ~ 150 万
保 証 期 間 (月) at25℃	12	3
混 合 比	100 : 11	
可 使 時 間 (分)	120 ~ 240	
硬 化 時 間 (時間) at20℃	48 ~ 72	

§ 使用方法

1. 前処理 被着材表面の水分やゴミ，油などを除去し、汚れのないよう清浄にします。目地深さ調整と三面接着を避けるために、バックアップ材を詰めます。目地仕上げと使用部所周辺への汚れ防止にマスキングテープをはります。
2. プライマー塗布 目地面にプライマーを均一に塗布し、60分以上乾燥させます。プライマーにより塗布量は異なります。
3. シーリング材塗布 主剤・硬化剤を均一になるまでよく混合し、コーキングガンなどで目地へシールします。混合したものは可使時間以内に全て使用して下さい。
4. 仕上げ 可使時間内にスパチュラやナイフなどで表面を仕上げ、最後にマスキングテープを除去します。

## § 被着材および使用プライマー

ダイアボンドNo.3800G-1の使用に際しては、必ず被着材に合わせたプライマーをご使用下さい。  
\*プライマーの選定については、弊社にご相談下さい。材料をご提供頂き、密着性の確認を致します。

## § 硬化剤の種類と使用時期

硬化剤は F, M, S 型の 3 種類があり、使用時期に適した硬化剤を使用して下さい。

※ 使用雰囲気温度

F	平均 10 °C 前後
M	平均 20 °C 前後
S	平均 30 °C 前後

(注) 季節により切り換えますので、各タイプが常時在庫ではありません。

## § 注意事項

- ・ 降雨時など使用面が濡れている場合の施工は避けて下さい。
- ・ シーリング材は密栓して冷暗所に保管して下さい。
- ・ 器具の洗浄にはダイアボンド4THかトルエンなどをご使用下さい。
- ・ プライマー塗布後、8時間以内にシール作業を完了するようにして下さい。

☆ 上記の接着性能データは、当社実験室で得られた値ですので、接着剤選定の目安としてご使用下さい。環境条件や作業条件などにより、得られる値も変化しますので、より正確な接着性能を求めたい場合は、それぞれの用途に合わせて確認試験されることをお勧めします。